

ビオラ1200株植える

寺田駅前
まちづくり協

5段式「デコ花壇」28日に

城陽市の中心、近鉄

寺田駅周辺の整備を進
めている「寺田駅前ま
ちづくり協議会」（東
本一謙会長代理・会員
40人）は20日、市民に
も呼びかけ、駅前ロー
タリーに花苗1200
株を植えた。

株を植えた。

協議会は、駅周辺整

備の環境美化をめざし

殺風景なロータリーに

「デコ花壇」（デコレ

ーション花壇）づくり

を計画。直径3・6m、

高さ1・8m、中央の

ボールの高さは6mで、

6角形の5段式。京都

府地域力再生プロジェ



ピオラを植える市民ボランティアら

設するもの。

今月28日（日）に完

成お披露目を開くが、

この日は、花壇周辺を

さらに花で飾ろうとい

うもの。朝から、会員

と呼びかけに応じたボ

ランティアの市民ら30

人がくり出し、ひと株

ずつ丁寧に植えていっ

た。植えたピオラの花

は市内の谷園芸、園芸

用土は城南工建の協力

を得たという。

なお28日のお披露目

会では、午前11時から

寺田駅南側の線路沿い

にある教育委員会駐車

場で、みたらしだんご、

フランクフルトなど露

店がくり出し、子ども

達に楽しんでもらう企

画もある。【藤本博】